

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。なお、施工後は、施主様にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告…施工を誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意…施工を誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●キャビネットが落下してけがをされるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

- 指定の位置に、厚さ24×60以上の硬木の棧木を設置してください。
- 棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘等で固定してください。ベタ張りの場合は、厚さ18以上の合板を使用してください。（厚さ12の合板ではつり下げ強度が足りません。）
- 必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×57を指定の本数使用してください。
- 必ず棧木の中央または厚さ18以上の合板に固定してください。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆすってガタツキのないことを確認してください。
- リフォーム等の場合で、棧木位置が石こうボード等で確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、棧木を取り付けてください。

▲注意

●扉のつり込みの際は、扉の丁番本体をキャビネットの丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。

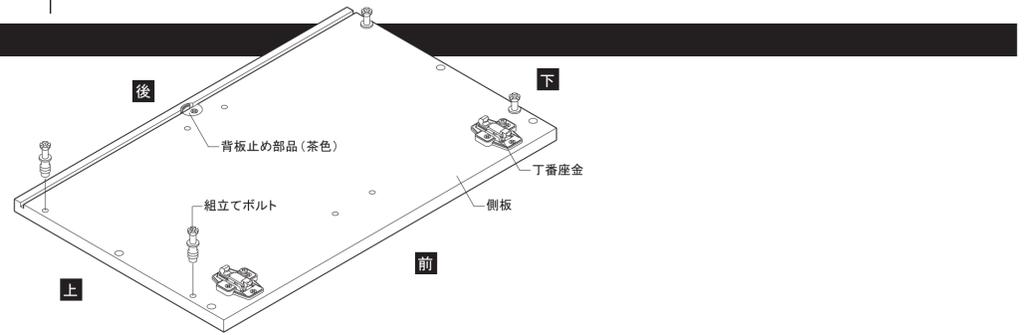
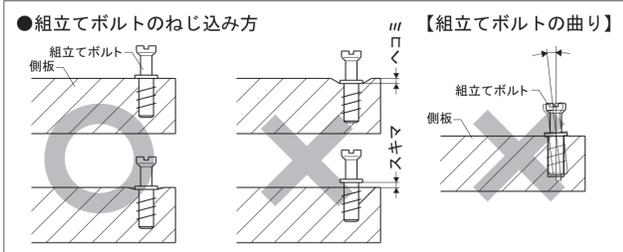
■施工上のおお願い

- 壁面（躯体）に固定する際は、水準器・下げ振り等で水平・垂直を調整してください。キャビネットのねじれにより、本体の開閉に支障がでるおそれがあります。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが破損するおそれがあります。
- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組み立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。
- 発熱燈付近には取り付けしないでください。熱により、製品が変形するおそれがあります。

■組立て順序

1 部品の取付け

●側板の上下のφ5穴に4本ずつ、組立てボルトをねじ込みます。

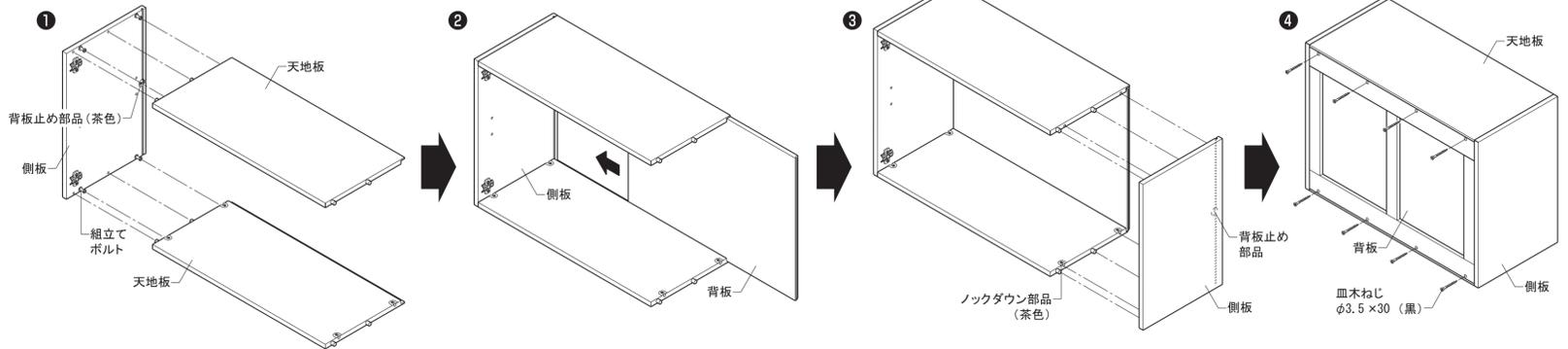


2 側板・天地板の組立て

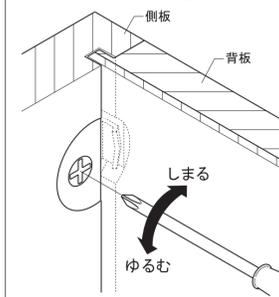
【W445・740・890タイプ】

※キャビネットの左右勝手は、組立て後に天地を逆にする事により選択できます。（W445タイプ）

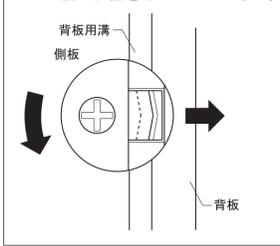
- 両方の天地板に、片方の側板を差し込みます。
- 背板を側板の溝に差し込み、背板止め部品（茶色）を締めます。（締め方参照）
- もう片方の側板を差し込み、ノックダウン部品（茶色）を締めます。（締め方参照）指金等でキャビネットの直角を確認しながら、もう片方の背板止め部品（茶色）を締めます。
- 皿木ねじφ3.5×30（黒）で、背板を天地板に固定します。



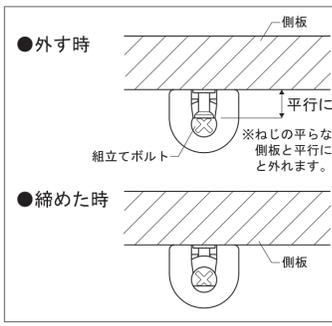
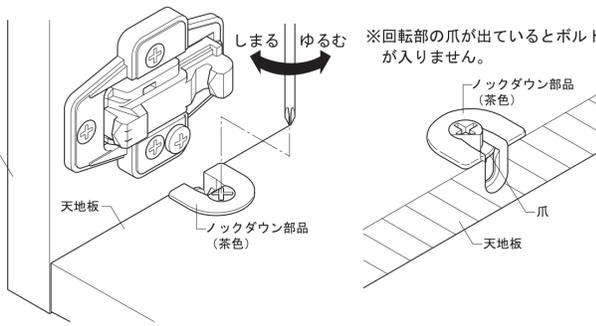
■背板止め部品（茶色）の締め方



※点線のように歯が移動して背板が差し込みにくい場合は、ねじを左に回して歯の位置をもどしてください。



●ノックダウン部品（茶色）の締め方
右に150°～180°回して締め付けます。よく締まらない時や、側板との間に透き間がある時は、いったん外してください。回転部の爪の状態を修正した後、再び締め付けます。



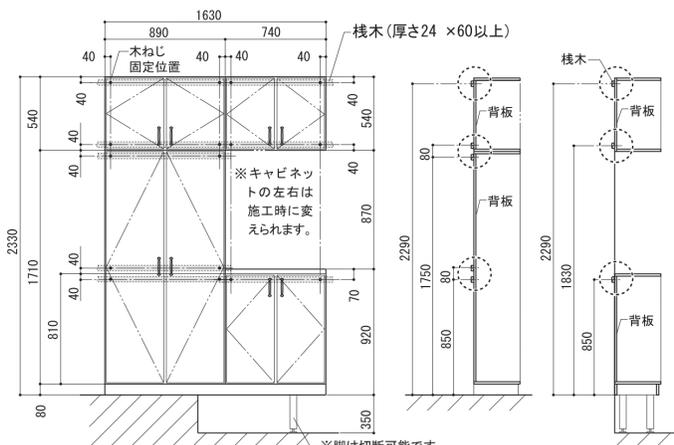
■キャビネットの据付け

1 据付け前の準備

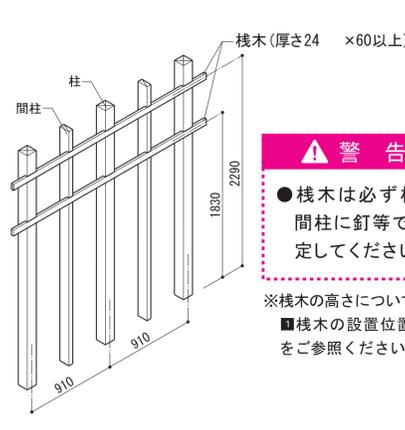
1 棧木の設置位置確認

●据付け場所と上り框の位置及び収納セットの左右勝手を確認し、棧木を設置します。

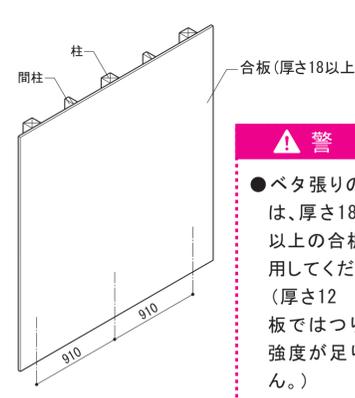
- ▲警告**
- 指定の位置に、厚さ24×60以上の硬木の棧木を設置してください。
 - 棧木には、虫食い・くされ等のない物を使用してください。
 - リフォーム等の場合で、棧木位置が石こうボード等で確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は、棧木を取り付けてください。



2 棧木の固定



【ベタ張りにする場合】

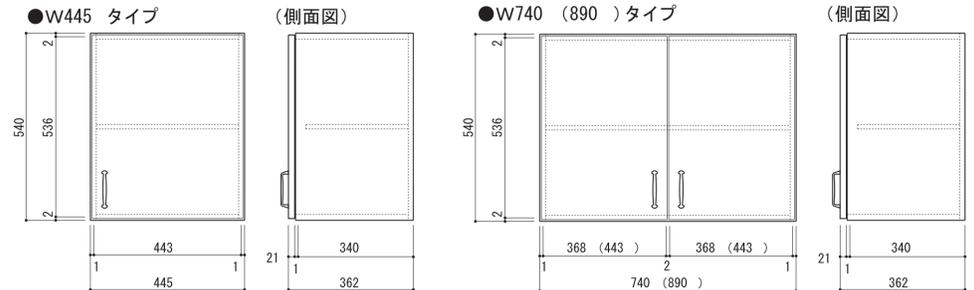


■部材・部品一覧表

梱包単位	部材名	数量		備考
		W445タイプ	W740 (890)タイプ	
キャビネット梱包	側板	2	2	丁番座金は取付け済み
	天地板	2	2	天地両用・ホゾ付き
	背板	1	1	—
	棚板W854	—	(1)	—
	棚板W704	—	1	—
	棚板W409	1	—	—
同梱部品	組立てボルト	8	8	—
	皿木ねじ（壁取付け用）	4	8	φ3.8×57mm（黒）
	皿木ねじ（背板止め用・キャビネット連結用）	14	16	φ3.5×30mm（黒）
扉部材	扉・左つり元	—	1	丁番は取付け済み、把手穴は加工済み
	扉・右つり元	—	1	丁番は取付け済み、把手穴は加工済み
	扉・左右兼用	1	—	丁番は取付け済み、把手穴は現場加工
部品	把手	1	2	裏ねじ付き

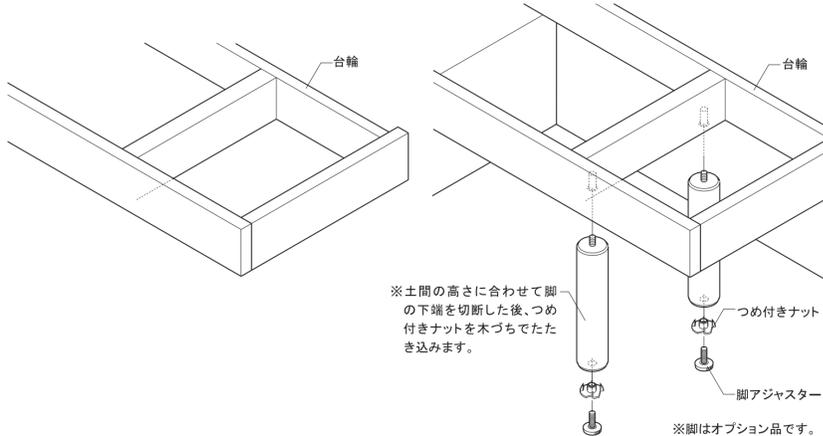
■寸法図

※キャビネットの左右勝手は、組立て後に天地を逆にする事により選択できます。

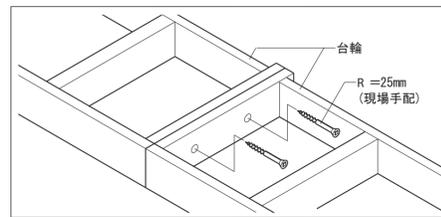


2. 台輪の設置

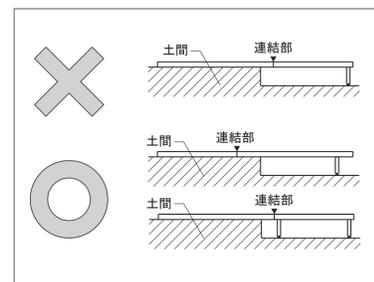
- 据付け場所に台輪を置きます。
- ※台輪を土間に直置きする場合は、水切りのため、アジャスターで10~15mm浮かせてセットしてください。
- ※W1335タイプ以上で、台輪が土間に2/3以上かかる場合は、オプションの追加脚セットを台輪の中央に取り付けてください。



※台輪を2台以上並べる場合は、木ねじR=25mm(現場手配)で連結してください。



※連結部は、土間にかからないようにしてください。やむを得ない場合は、脚を4本使用し市販のボルト・ナットで台輪を連結してください。



※台輪の脚の切断可能範囲は、最大100mmです。
※アジャスターの調整範囲は10mm~25mmです。

3. キャビネットの設置

1 壁面への固定

- 水準器・下げ振りでキャビネットの水平・垂直を調整しながら固定します。

警告

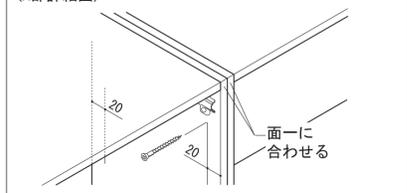
- 必ず指定の躯体取付けねじφ3.8×57を指定の本数使用してください。
- 必ず桧木の中央または厚さ18以上の合板に固定してください。
- 躯体への固定後、キャビネットをゆずってガタつきのないことを確認してください。

2 キャビネットの連結

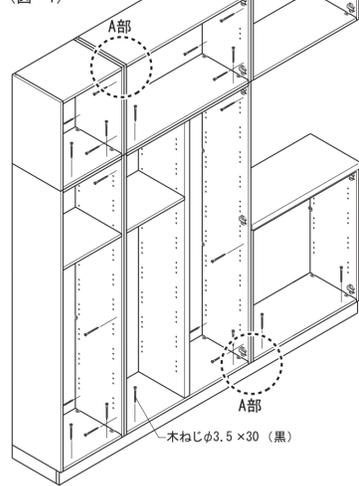
【キャビネット+キャビネット左右連結】

- キャビネットの側板前面を面一に合わせ、付属の木ねじφ3.5×30(黒)で止めます。(A部詳細図) (図-1)

(A部詳細図)



(図-1)



【台輪+各キャビネット】

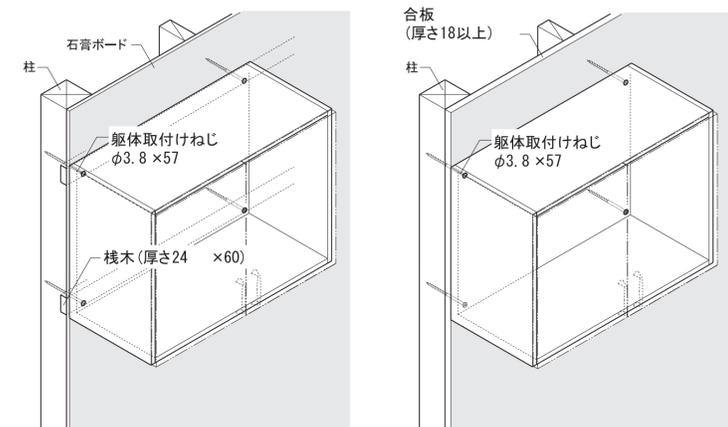
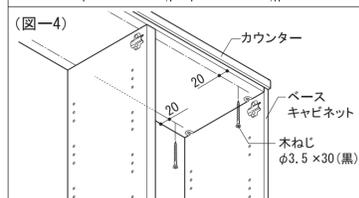
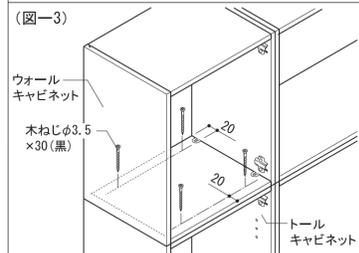
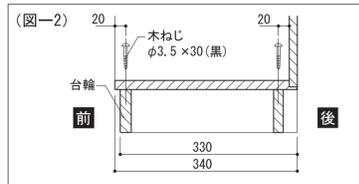
- キャビネットの内側から台輪に木ねじφ3.5×30(黒)で連結します。(図-2)
- ※この場合、背面を合わせ、左右のチリを均等にしてください。

【ウォールキャビネット+トールキャビネット】

- ウォールキャビネットの地板からトールキャビネットの天板へ(上から下へ)木ねじφ3.5×30(黒)で連結します。(図-3)

【カウンター+ベースキャビネット】

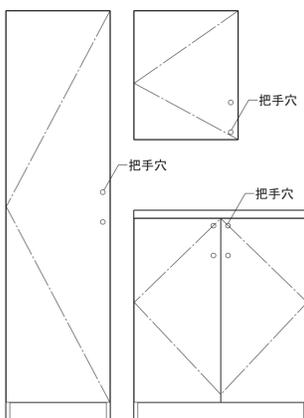
- ベースキャビネットの天板からカウンターへ木ねじφ3.5×30(黒)で連結します。(図-4)



4. 扉の取付け

1 扉の左右勝手の確認

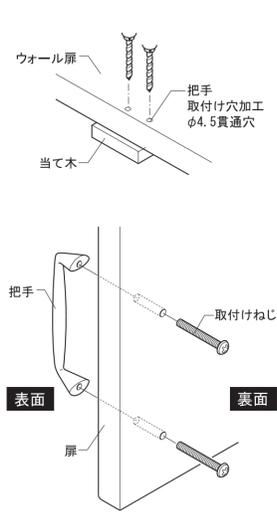
- ウォールキャビネットは把手穴が下、ベースキャビネットは把手が上になります。
- トールキャビネットは扉のセンターに把手穴があります。



2 把手の取付け

- ※445ウォール扉は現場での把手取付け穴加工が必要です。
- ※把手取付け穴加工を開ける時は、必ず当て木を使用してください。

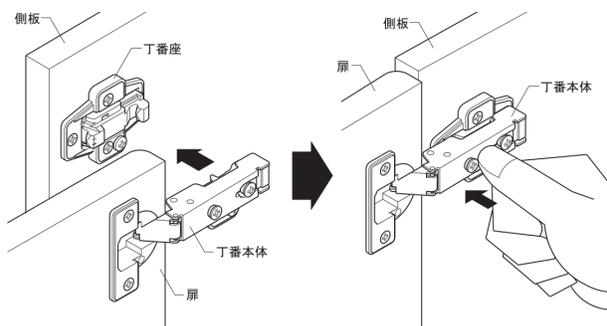
お願い
●当て木をしないで穴を開けると、ばりが出る原因となります。



3-1 扉の取付け方

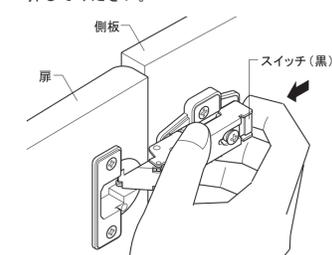
注意

- 扉を本体に取り付ける際は、丁番本体が「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。扉の脱落の原因となります。
- ※扉のつり込み後、3回程開閉を行い、丁番がきちっと取り付いているか必ず確認してください。



3-2 扉の外し方

- 扉を外す際は、丁番本体の黒いスイッチを押してください。



扉の調整

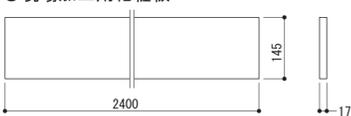
前後調整	左右調整	上下調整
調整範囲(3mm:前方2mm・後方1mm)	調整範囲(±2mm)	調整範囲(±1.5mm)
※調整後、必ずねじをしめ直してください。	※このねじをしめ直す必要はありません。	※調整後、必ずねじをしめ直してください。

オプション部品の取付け

【天井幕板・間口調整材】

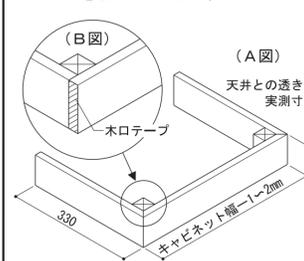
- ※扉より先に取り付けてください。
- ※どちらも、現場加工化粧板を使用します。
- ※天井幕板と間口調整材を併用する場合は、両者を面一に合わせてください。

●現場加工化粧板

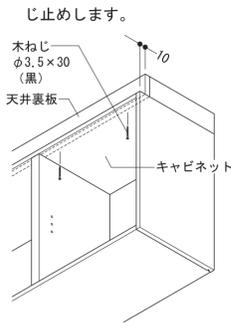


■天井幕板

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工し、組み立てます。(A図又はB図)
- ※(B図)の場合、木口面に付属の木口テープを張ってください。

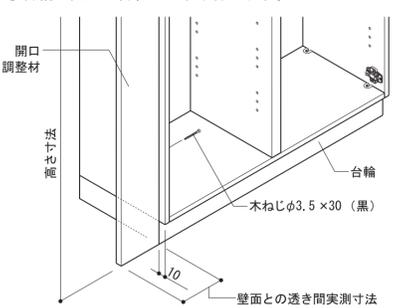


②キャビネットの内側からねじ止めします。



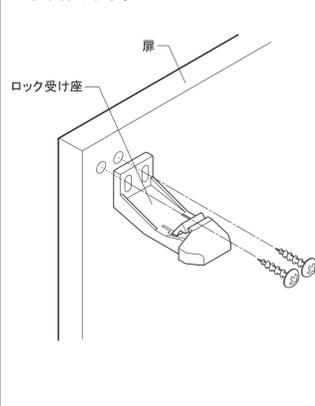
■間口調整材

- ①実測寸法に基づいて化粧板を加工します。
- ②台輪と面一に合わせて取り付けます。

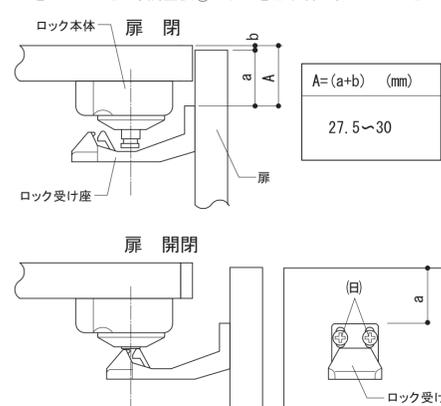


【特注ロック付ウォールキャビネット】

- 扉の裏側上部に付属のねじφ3.5×16で取り付けます。



- ①のねじをゆるめ、ロック受け座をA寸法の範囲内で上下の調整をしてください。調整後①のねじを必ず締め直してください。



お願い
※ロック受け座がA範囲内に調整されないと正常に作動しません。